



子宮頸がん予防ワクチン接種費用 全額公費助成事業について

現在、女子中学生を対象に子宮頸がん予防ワクチン接種費用の助成を行っています。これまではサーバリックスというワクチンしか、使用できるワクチンはありませんでしたが、新たに、ガーダシルというワクチンも助成対象になりました。

なお、1回目にサーバリックスを接種した方は、2回目以降も引き続きサーバリックスを接種してください。

●サーバリックスとガーダシルの比較

商 品 名	サーバリックス	ガーダシル
接 種 回 数	3回	3回
接 種 間 隔	0・1・6か月	0・2・6か月
用 法 ・ 用 量	1回に0.5mlを筋肉内注射	1回に0.5mlを筋肉内注射
HPV に対する感染予防効果	HPV16・18型	HPV6・11・16・18型

※HPV（ヒトパピローマウイルス）は、子宮頸がんの原因となる16・18型などの「高リスク型」と、尖圭コンジローマなどの原因となる6・11型などの「低リスク型」に分類されています。サーバリックス、ガーダシルいずれもHPV16・18型の「高リスク型」に起因する子宮頸がんの予防効果が認められていますが、効果について比較したデータはありません。

問合せ 健康福祉課健康づくり担当

☎62-1233



インフルエンザ予防接種のご案内

通常インフルエンザの流行は1月上旬～3月上旬です。ワクチンが十分な効果を維持する期間は、接種後約2週間～約5か月間とされていますので、流行が予想される時期とワクチンの有効期間が一致するように接種を受けてください。

対 象 者	①接種当日満65歳以上 ②60歳以上65歳未満で、心臓、腎臓、呼吸器の機能またはHIVウイルスによる免疫機能に障害があり、その障害が身体障害者手帳1級に相当する方 (医師の診断書または身体障害者手帳の写しが必要です。)
接 種 期 間	平成23年10月20日(木)～12月28日(水)
自 己 負 担 額	1,000円 (助成額2,500円) (生活保護世帯、中国在留邦人受給者の方は自己負担がありません。)
受けられる医療機関	いきいきサポーターが配布したチラシをご参照ください。
申 込 み	①町内で接種希望の方は、直接医療機関へお申し込みください。 ②町外で接種希望の方は健康福祉課（窓口⑥）まで、事前に接種に必要な書類を取りに来てください。

問合せ 健康福祉課健康づくり担当

☎62-1233